

分野名：学社連携（地域学校協働活動）

花っ子と共に育つ地域の輪

～小学生対象の事業を中心として、地域の居場所づくりに資する～

福岡市花畑公民館【市立公民館】 館長 黒田 真
主事 福永 美智子

1. 事業名

子どもの健全育成関連事業「花っ子クラブ」

2. 事業の目的

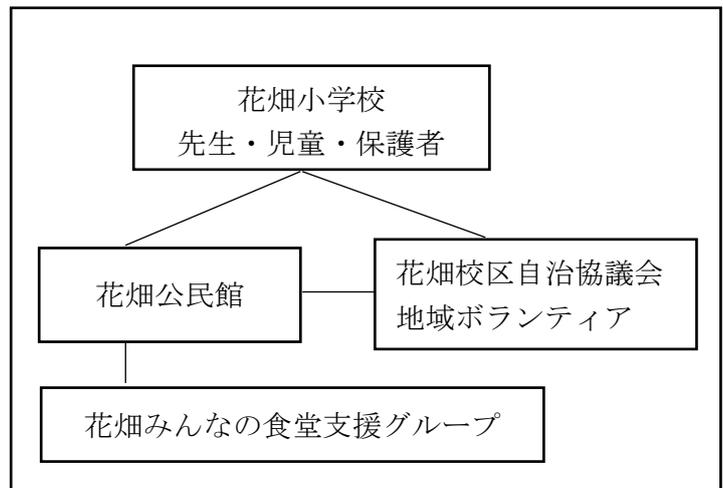
小学校と公民館、地域住民が連携し、児童中心の事業をきっかけに地域コミュニティの居場所づくりを目指す。

3. 事業の主体

福岡市花畑公民館

4. 連携・協力機関・団体等

- ・福岡市立花畑小学校
- ・花畑校区自治協議会
- ・地域ボランティア
- ・花畑みんなの食堂支援グループ
- ・絵本のひろば実行委員会



5. 実施に至る経緯

○平成 21 年度～

公民館の主催事業「子どもの健全育成関連事業」として、体験の場・仲間づくりの場を作るために「花っ子クラブ」を始める。花畑小学校の協力を得て、年間を通して活動できるように登録制として児童の参加を募り、異年齢のグループを作って活動を進める。

○令和 2 年度～

地域の担い手パワーアップ事業（校区民対象）で、「花畑のおひな様まつり」を開催する。公民館が活動の中心となるが、公民館サークルや地域ボランティアの皆さんの協力を得ながら、乳幼児から高齢者まで全世代の地域住民の交流の場として開催を継続している。

○令和3年度～

「花畑絵本のひろば」を開催する。子どもと親子で一緒に楽しめるイベントを「絵本のひろば実行委員会」のメンバーが中心となって企画運営している。

(6②参照)

○令和5年度～

「花畑寺子屋」を夏休み期間中に10日間開催。10時～12時迄の2時間、地域のボランティアのサポートを受けながら学習の場を提供している。

○令和7年度～

地域のボランティアを募って「子ども食堂」の取り組みを検討。「花畑みんなの食堂」として、小学生を中心に全世代の人を対象に月1回(第3土曜日の昼)の食堂を開催する。(6③参照)

6. 事業の内容

①「花っ子クラブ」(小学生の登録制)

- ・子どもの居場所・体験の場・仲間づくりの場で、1年間を通して活動。保護者も一緒に参加できるような内容なので、親子で触れ合いながら活動でき、子どもとの大切な時間を共有できる場となっている。
- ・基本的に第4土曜日10時～12時の開催。年間8回から9回開催。
- ・5月に募集要項を小学校から全児童に配布してもらい、毎年50人～100人の児童が登録を行っている。
- ・主な活動内容

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
開講式(グループ作り)	心の学習	樋井川自然観察	絵本のひろば参加	片縄山登山	ハッピーハロウィン	演劇鑑賞	ハッピーX'mas	初釜、お正月遊び	お雛様祭り
健康運動	人権教育推進員	福岡市環境局	絵本のひろば共催	四季友遊会	地域のボランティア	プロの劇団	プロのマジシャン	公民館サークル	公民館主催

〔樋井川の自然観察会〕 学社連携、保護者の参加



九州産業大学の伊豫岡准教授と学生の協力を得て、毎年7月に川の自然観察を実施。保護者や自治協の環境美化推進部への参加協力も呼びかけ、河川の環境や生き物、安全な遊び方を学んでいる。令和7年度は合計107名が川に入り楽しんだ。

②「花畑絵本のひろば」 保護者の参加、地域のボランティア

- ・令和3年度から開催し、令和7年度で5回目となる。
- ・最初は、絵本の専門家の手助けを得ながら「絵本カーニバル」として開催してきたが、3年目より地域のボランティアによる実行委員会を中心に開催。毎月1回定例会を開催し、主要なテーマを決めて絵本を中心とした手作りの空間を作り上げている。
- ・花っ子クラブの子どもたちも、兄弟や保護者と一緒に参加し、絵本の世界に触れて楽しいひと時を過ごしている。令和7年度の参加者数は2日間で258名。
- ・パンフレットを中学校の美術部にお願ひしたり、地域在住のプロの音楽家による「絵本のたまたま箱コンサート」や、読み聞かせ等、地域参加の場となっている。



③「花畑みんなの食堂」 小学校の協力、地域のボランティア

- ・令和7年度より花畑みんなの食堂支援グループ（地域のボランティア）が組織され毎月第3土曜日に公民館で昼食を提供。
- ・花畑小学校の協力を得て、毎月案内のプリントを全児童に配布。学習支援（10：00～）と米飯の食育指導を行っている。
- ・「みんなの食堂」として、小学生だけでなく地域住民の居場所として交流の場を広げている。子どもは無料、大人は200円。

※各事業の詳細は「花畑公民館ブログ」をご覧ください。

7. 事業の成果

- 花っ子クラブの事業を通して、保護者・学校・地域・公民館サークル等、様々なコミュニティとの連携が継続し、広がりをもっている。
- 小学生を中心とした事業を実施することで、「校区の子どもたちのために協力しよう」という地域ボランティアの参画が増えてきている。
- 事業のない日でも小学生が気軽に入出入りする姿が増え、公民館が地域の居場所として定着しつつある。

8. 今後の課題

- 事業の継続性を踏まえ、保護者を中心としたボランティア人材の確保が必要。
- 花畑校区の子どもへの健全育成に向け、地域事業の情報共有とビジョンの検討。

問合せ先

〒811-1356 福岡市南区花畑 3-35-6 花畑公民館

TEL 092-566-9061 FAX 092-566-9481 E-mail:hanahata26@jcom.home.ne.jp